

# ライブハウスで恥をかかないための10の常識

## ①マイクを叩いてはいけない、って知ってますか？ チェック!

学校の朝礼で、校長先生がマイクをバンバン叩いて、音が出るかどうか確認します…。このマイクを叩く、というのは、本来は絶対にやってはいけないことです。でも、バンド経験やライブ経験のない人は、簡単にやってしまうんですよね。

マイクは打楽器ではありません。  
叩いたら、壊れるんです。  
そして、ライブハウスの音響はかなり高出力です。  
マイクを叩くと、その音量でスピーカーが壊れることもあるんです。

バンドマン界限、ライブハウスでは、これは常識です。  
でも、カラオケレベルの人は、わかってません。

マイクの音が出るかどうかは、声を出して「あ～あ～」と確認をして下さい。  
マイクを叩くと、PAさんは怒ります。

## ②マイクを握り込んではいけない、って知ってますか？ チェック!

ビジュアル系バンドとかラッパーとか、カッコつけてる人はマイクを握り込んで歌ったりします。  
それをカッコいいと思って真似するのは、やめましょう。

マイクを握り込むと、ハウルんです。  
ピ～ッてなるヤツのことです。  
マイクの構造上、そうなるんです。

テレビでビジュアル系バンドのボーカルが握り込んでるのは、パク(くちぱく)だから、だったりします。  
そのマイクでは、音を拾っていないんですね。

普通に歌声を拾うシステムの場合は、ハウッてしまう上に、音色も変になってしまいます。  
カッコつけて真似するのは、本当に恥ずかしいです。

### ③マイクを下に向けてはいけない、って知ってますか？ チェック!

マイクを下に向けると、そこには自分の声が返ってくるモニタースピーカーがあります。マイクとモニタースピーカーの干渉で、ハウリます。

ライブ経験のない人は、みんなやらかします。  
カラオケレベルの人です。

歌わない時に手持ちぶさたでマイクを握ったまま手をぶらぶらさせても、マイクは下を向きます。

それがわからないというのが、恥ずかしいです。

いいですか、カラオケとは違うんですよ！  
ライブハウスは、足元にモニタースピーカーがあるんです。

### ④ステージ経験が少ないギタリストさん程、爆音なんですよ。

チェック!

ギタリストさんが爆音、というのは結構ある話です。  
まずボーカルが聞こえなくなるし他の楽器も聞こえなくなるし、中にはドラムの音まで掻き消すほどの爆音の人もいます。

バンドは、アンサンブルの中で音量のバランスをとって演奏されなければなりません。  
でも、家で自分の音ばかり大きくして練習しているだけでライブ経験が少ないギタリストさんは、自分の音量がかなり大きくないと不安なんです。  
だから他の楽器の音量に負けないようにと、爆音になってしまうんです。

経験不足です、初心者です、と自ら言っている様なもんです。

### ⑤ステージ上で個人練習を始めちゃうドラマーさん、すごく迷惑だってわかってますか？ チェック!

個人練習は、ライブの前に済ませておいて下さいね。  
ライブのリハでステージに上がってから、やることではないんです。

でも、ステージに上がってから個人練習始めちゃうドラマーさんの多いこと…。

夢中で練習を始めちゃうと、うるさくて周りの人同士は会話もできなくなります。  
みんなのセッティングが終わって、さてアンサンブルで演奏、って待っているのに、ドラマーさんは夢中で個人練習をしています。

周りが見えなくなるととても迷惑なんだから、気づいた方がいいですね。

## ⑥上手下手、って読めますか？ チック!

「じょうずへた？」  
うまいかうまくないかの話ではないです(苦笑)。

「かみてしもて」と言います。  
これは、舞台の右側か左側か、ということです。  
客席から見て舞台の右側がかみて、左側がしもて、です。  
ライブハウスに限らず、演劇でも何でも、舞台を使う場合に用います。

## ⑦アコギや鍵盤楽器のケーブルの抜き差し、電源 ON/OFF は、PA さんに確認を取らないといけないって、知ってますか？ チック!

ライブハウス慣れしていない人は、PA さんに確認も取らずに、自分の用が済んだらいきなりケーブルを抜いたり電源を落としたりします。  
それをやってしまうと、スピーカーが飛んだりとか、機材を破損します。

結構何度も、同じ人がそれをやります。  
アコギでも鍵盤でも、中高年の人に、非常に多いです。

## ⑧ライブのリハはバンド練習の場ではないって、知ってますか？

チック!

ライブでリハをやりますが、それは音作りの場です。  
バンドさんにも必要ですが、どちらかというと PA さんのための時間です。

そこで、曲の構成を確認したりとか、バンド練習を始めたりとかする人がいますが、そんなことをしている時間はありません。

リハの終わりくらいで、「まだ時間ありますか？」と言って、バンド練習を始めようとする人がいますが、PAさんが音の確認をしたらリハは終わりです。  
時間が余るなら、次のバンドのために使います。

リハは忙しいんです。  
バンド練習なんか始めないで下さいね。

## ⑨バンドの転換、前の組が片付け中に自分の準備を始めちゃうと、ものすごく遅くなるのわかりますか？ チック!

ライブ慣れしていない人は、周りを見る余裕がありません。  
バンドの転換時に、焦って自分のことだけ先にやろうとする人がいます。

前の組のバンドさんがはける前に、自分の機材をステージに持ってきてしまいます。  
まだ、前の組の人の機材があるのに、どうやってセッティングするというのでしょうか？  
そして、前の組の人が片付けようとして楽屋に入ろうとしているのに、自分の準備で楽屋を塞いでしまい、誰も身動きが取れなくなる、ということが発生しています。

まず、落ち着きましょう。  
前の組の人たちの動きを、ちゃんと見ましょう。

前の組の人たちが機材の片付けを済ませてステージからはけて、楽屋に機材を運び入れて、ってというのがまず優先です。  
前の組の人たちの邪魔にならない様に、自分がどうするかを考えましょう。

周りの迷惑を顧みずに自分の準備を始めてしまうのは、いかにも余裕がない感じで恥ずかしいです。

## ⑩楽器をステージ上に置いておいていいですか？って、それ、ライブじゃなくてセッションですよ？ チック!

ライブはセッションじゃないんです。  
自分の出番の時以外は、機材は全部片付けて下さいね！

想像してみてください。  
自分が出番で演奏中にステージ上を動きまわろうとしたら、そこに関係ない人の機材が置いてある…。

動けない。

または、ぶつかって倒してしまったり、踏んでしまったり…。

自分が出番じゃないのなら、片付けるのが当たり前ですよ。

以上、どうでしたか？

あなたは、やらかしてませんか？

また、これから初めてのライブをやる、というのであれば、事前にこれらのことを知ることができてよかったですね。

ライブハウスの使い方、機材の扱い、常識やマナー、諸々の段取りなど、カッコつけてる割にはこれらのことを知らないとなると、かなり恥ずかしいです。

そして、場合によっては周りに迷惑をかけたり、怒らせたり…。

JAM SESSION のサイトでは、バンドマン必見の、どのライブハウスに行っても大歓迎されてしまう知識を公開しています。

是非、色々回遊して学んで欲しいです。

2022年7月 JAM SESSION